

赤ちゃん先生④

～いのちの力～

今日は、ママから妊娠や出産のときのお話を聞きます。



ママ講師のお話

- 赤ちゃんの始まりって、知ってる？
針で紙に穴を開けたくらい大きさなんだよ。
- 生まれてくる時は、ちょうどペットボトル6本分くらいの重さです。
- 残念ですが、おなかの中にできた赤ちゃんは、全員が無事生まれるとは、限りません。だから、無事生まれた時は、みんな大喜びするんです。
- みんなも赤ちゃんも3億分の1の奇跡で選ばれて、今、ここにいます。
- おなかの赤ちゃんが無事育つように、お母さんは、いろいろな注意や我慢をします。
- 赤ちゃんも生まれる時、「生まれるたい。」と思って苦しい中がんばって生まれます。
- 出産の時、なかなか産まれなくて頭を引っ張ってもらってでできました。
- 赤ちゃんを産む時、お母さんは、命がけで産みます。
- 赤ちゃんが出て来ない時は、お母さんのおなかを切って出すこともあります。



ママ講師・インストラクターの感想

- ・泣いていても、ぐずぐず言っているでも気軽に抱っこしてくれ、「親戚の人みたい。」と感じた。
- ・赤ちゃんも心を許していて、今日、人前で初めて歩いた。
- ・エコーの写真に、「赤ちゃんの部屋は、大きくなるの？」と質問していた。
- ・出産について、自分や兄弟姉妹の話をしてくれた。家庭でも生まれた頃の話をしていただ。
- ・難しい不妊治療の話も伝わったと思う。男の人の気持ちも分かってくれたかな。
- ・親も気づかないような1ヶ月の間の成長に気づいてくれた。
- ・妊娠出産の話では、じっと目を見て話を聞いていた。難しい話もあったかもしれないが、何かしら感じてくれたと思う。

児童のふり返り

- ・今の命は、3億分の1の確率で生まれてきたことが、分かりました。
- ・赤ちゃんは、絶対生まれてくるわけではないということが分かりました。
- ・赤ちゃんが、生まれてくる前に、いっぱい苦勞することが分かった。私は、どういふふうに分かれましたのかももっと知りたくなってきた。
- ・いっぱい苦勞をして生まれてきた人たちは、すごいなと思った。
- ・赤ちゃんは、貴重な存在だということ。友だちは、みんな3億分の1の選ばれた人間ということ。
- ・ぼくも生まれてきたことを感謝したいです。
- ・命は、赤ちゃんの「生まれてほしい」という力と母の「生まれてほしい」という力から生まれたんだと思います。
- ・Y君のお母さんは、赤ちゃんがほしくてたまらなかったそうです。注射を打ってまでも赤ちゃんがほしかったそうです。私は、この話を聞いて、赤ちゃんが一番お母さんになつくということが分かりました。
- ・赤ちゃんは、みんな生まれてくるわけじゃないんだな。
- ・ぼくのお母さんは、にんしんした時、つらかったと言っていたけど、それが分かりませんでした。でも、今日の学習で、どんなにつらいかが分かりました。
- ・命が続いているのは、すごい。
- ・赤ちゃんが生まれるとき、赤ちゃんもがんばっているというのが、感動しました。
- ・赤ちゃんの鼓動は、とても速いことが分かりました。
- ・生まれてくるのが、すごくうれしいということが心に残りました。私は、この学習で、命の大切さを学ぶことができました。
- ・命は、とても大事で大切に、傷つけてはだめ。
- ・S君は、選抜されたひとりなんだということです。S君だけでなく、自分も友だちもお母さんも一緒だということが分かりました。お母さんは、命がけで産んでくれたということが分かりました。



ママ講師のお話



活動をまとめた新聞